

西新井大師に参拝 弘法大師の建立を偲ぶ

企画委員会

東京の北部に位置する歴史ある寺院、関東三大師の一つ通称「西新井大師」に秋の晴天の下に参詣しました。川崎大師と共に、初詣での賑わいは正月のニュースで取り上げられます。總持寺が正式名称で足立区西新井一丁目にあり、真言宗豊山派です。縁日は毎月 21 日です。本堂に上がり、お坊様の読経に聞き入りました。

空海（弘法大師）がこの地を訪れた折、觀音菩薩の靈託を聞き本尊十一面觀音を彫り 826（天長 3）年に寺院を建立したと伝えられています。本堂の西側に加持水の井戸があり、これが西新井大師の名の由来です。中野区にも新井大師がありますが、これも同じ真言宗豊山派です。

参拝後境内を巡り、門前の町並みをぶらりと歩き、参道のこじやれたイタリアンで昼食をとり飲物を添えて大いに懇談しました。昼食後、またまたぶらり徒步で舎人ライナーの駅に向かいました。この付近は東京都内の昔風の趣をたっぷり残す町並みと、都市整備がされた幹線道路沿いの地域がありそれぞれ棲み分けていました。

ぶらり徒歩後に、「舍人ライナー」に乗車しました。ゴムタイヤで高架を走行する新交通システムで、全路線10kmほど、車窓からの高い目線で沿線の風景を楽しみました。新橋からお台場へ通じる「ゆりかもめ」、横浜新杉田から並木に向かう「シーサイドライン」、東北・上越新幹線の高架張り出し部分を走行する「ニューシャトル」も新交通システムです。

日 時：2025 年 9 月 25 日（木）

集 合：錦糸町駅（JR 総武線）南口改札 午前 10 時
解 散：舎人ライナー西日暮里駅改札 午後 2 時半頃
観 光：西新井大師参拝、西新井大師境内鑑賞散策、
参道お土産店散策、舎人ライナー乗車

参加費：300 円
交通費：713 円（内訳 東京メトロ・東武 430 円、
舍人ライナー 283 円）
支那急行、支那通（集合、解散場所）は各自負担

自己負担：交通費（集合・解散場所迄）、昼食代など
順路：JR錦糸町南口改札 →
東京メトロ半蔵門線錦糸町 → 東武西新井 →
東武大師線 → 西新井大師前 → 徒歩5分 →
西新井大師 → 参拝・参内1時間 → 境内散策 →
昼食1時間 → 町並み散策40分 →
金人ライナー西新井大師西駅 → 西日暮里解散

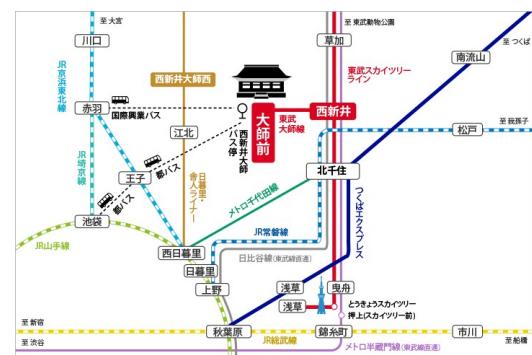
距 離：五步計 8 步

参加者：12名

懇親会：西新井大師参道のイタリアンにて、ゆるり～ゆったりと飲物を添えての昼食懇談でした



西新井大師の場所 最寄り駅；東武線大師前駅



西新井大師 参道付近のお店

昔ながらの風情を残す情緒豊かな街並みで、ぶらりぶらりの散策はとても楽しいものでした。当日定休のお店がありました。



弘法大師の事蹟

空海弘法大師さまが、日本仏教の普及に貢献したことはよく知られています。弘法大師の事蹟はこれに留まらず、さまざまな文化活動に取り組み、大きな足跡を各地に残しています。

香川県の満濃池（まんのういけ）の修築工事で、技術指導を行いました。アーチ型の堤防を造り、現在も利用されています。

書物の出版では、「十住心論（じゅうじゅうしんろん）」や「秘藏宝鑑（ひぞうほうやく）」などの多くあります。

語学では中国語やサンスクリット語に造詣が深く、さらに書道や美術の発展に寄与しています。書道では嵯峨天皇・橘逸勢に並ぶ三筆のひとりで、美術では弘仁期以後の仏像・仏画に影響を与えています。

日本最初の庶民教育機関「綜芸種智院（しゅげいしゅちいん）」を開き、教育の機会均等を実現したともいえます。才能が万能で、今でも日本各地に残る弘法大師さまのおかげですとの言い伝え、納得できます。

西新井大師～空海が建立～

東武大師線の大師駅を降りると、すぐに石畳の参道となり山門に出ました。まさに、門前駅でした。

☆山門

最寄り駅東武線大師前を下車してほんの少し歩くと、大きな大きな山門が目に飛び込んできて圧倒されました。江戸後期の建立だそうです。屋根を支える構造が、造形美を見せしかも力学的合理性をもっていることに感銘てしまいました。

金剛力士像は門の左右にあり、迫力満点でした。当時の仏教界の威容が偲ばれます。



☆大本堂

大本堂の存在感にも驚きました。荘厳な雰囲気は、圧倒的です。



お坊さんがご祈願する場には、金色の飾りものが高い天井から下がり、左に火炎太鼓、右に和太鼓があり、

参拝者の身を包む音が威厳をもって響きました。

参内した11時半はお坊様の読経の時でした。緑の衣の坊様7名、読経を導く朱衣の坊様1名、支援する作務衣の方1名と9名の読経を聞くことができました。本堂の護摩の火炎を見、読経の声に集中すると、なにかに引き込まれる、そんな気がしました。これが空海が真言密教を広めてから1200年の重みでしょうか。

☆弘法大師像

仏教の教えを広める御姿が、本堂正面の左側にありました。才能と知恵にあやかりたく手を合せました。

本年は猛暑の夏でしたが、さすがに季節が廻り多少暑さが和らいでいました。秋空の雲が、弘法大師の偉業を宇宙から称賛しているようでした。



☆大日如来尊像

弘法さま空海は真言密教を極めましたが、その密教の中心で宇宙の主の大日如来が鎮座していました。



☆四国八十八カ所靈場 同行二人お砂踏み巡礼所

境内左にあり、基壇の周囲と石板の下に四国靈場と高野山の靈砂が順に敷かれていました。



☆お庭

美しいお庭がありました。池にかかる橋、緑豊かな木々が心の緊張をほどいてくれました。滝もあり、清涼感もいっぱいでした。池の錦鯉が、ゆったり泳ぐ様子を眺め、心をほどきました。



西新井大師前参道

山門前にある参道には、「草だんご」や「手焼きせんべい」などの老舗のお店がありました。今風のオシャレなイタリアンがあり、ここで昼食と洒落込みました。



☆草だんご

山門の門前左右に、老舗中の老舗の草だんご屋さんのお店があります。山門に向かって左が清水屋さん、右が中田屋さんです。どちらもヨモギの味とほのかな香りがたち、名物に旨いものありました。漉し餡と粒あんがありました。



東武線大師前駅 西新井駅から1駅の支線駅

無人改札で、Suicaが使えます。この支線への乗換駅である西新井駅のSuicaゲートでタッチすると、大師前駅で下車することになりました。

電車は2両編成が1本で、西新井駅と大師前駅を往復しています。正月や縁日の混雑を見越して、大師前駅ホームはとても広く、ゆったりとしていました。



街路樹にサルスベリとカリン

西新井大師の北門から舎人ライナーの駅まで、ぶらぶらと散策しました。街並みに特段の色を添えていたのが、サルスベリの花でした。整備された幹線道路の街路樹として整然と植樹され、赤色と白色の花が華やかさを醸し出していました。



もともとサルスベリは、釈迦誕生の木として植えられていて、もちろん西新井大師の境内にも多くありました。仏典が云うアショーカ樹（無憂樹）の代わりに日本では植えられたそうです。

お釈迦さまに縁のあるカリンも、街路樹としてありました。安蘭樹という名前の樹木が、仏教伝来の折にカリンを指すようになったそうです。

舎人ライナー 新交通システム

西新井大師西駅から西日暮里まで乗車しました。高架上の走行ですので、眺望抜群でした。



NT 日暮里・舎人ライナー 路線図

乗車すると眼下に広がる都会の建物がどこまでも広がり、高架ならではの眺めが目に入ってきました。

途中で荒川と隅田川を渡りますが、ここが難工事だったそうです。二つの川をまたぐだけでなく、首都高速中央環状線を立体交差する必要があり、1999年開業が2008年迄延期せざるを得ないほどの大工事でした。今は、ここを3分間で通過しますが、都市部の工事の困難さの象徴ともいえます。

舎人ライナーは住民の重要な足となっていて、足立区に新たな価値創出のインフラになって定着です。

追補 参道のスパゲッティ 旨かった！

